

中野本郷小学校改築推進委員会 要点記録

第 1 回

開催日時	令和元年8月29日(木) 午前10時～11時30分	
開催場所	鍋横区民活動センター	
出席者	委員	深澤和夫、馬場光男、関正行、杉下文昭、齋藤明美、高野允雄、藤原義之、池田麻友美、佐藤三千子、那須京子、山崎由紀子、久保真由美、田端国弘、伊藤廣昭、塚本剛史 (敬称略、名簿順)
	事務局	学校再編・地域連携係、子ども教育施設整備係
会議次第	【議事】 1 中野本郷小学校改築推進委員会の運営について 2 中野本郷小学校改築推進委員会の開催スケジュールについて 3 中野区立小中学校施設整備計画について 4 中野本郷小学校について 5 その他	

第1回 中野本郷小学校改築推進委員会 会議要旨

1 開会

- (1) 委嘱状交付（入野教育長より各委員へ委嘱状を交付）
- (2) 教育長、次長あいさつ
- (3) 委員紹介（自己紹介）
- (4) 事務局紹介
- (5) 委員長・副委員長の選出

「学校改築推進委員会の設置に関する要綱」第6条第2項に基づき、委員の互選により選出

- ・委員長 関正行（千代田町会）
- ・副委員長 藤原義之（中野本郷小学校PTA）
佐藤三千子（次世代育成委員）

2 議事

議事（1）中野本郷小学校改築推進委員会の運営について

委員長

それでは議事に入る。議事（1）「中野本郷小学校改築推進委員会の運営について」事務局の説明を求めらる。

事務局

推進委員会を運営していくにあたり、事前に決めておく必要があると思われる事項について、過去の統合委員会の運営方法を参考に事務局案を取りまとめた。これについて、確認いただきたい。

■資料「中野本郷小学校改築推進委員会の運営について（案）」を事務局より説明（概要）

1 定足数

推進委員会には、定足数を設けない。ただし、所掌事項の結果の取りまとめにあたっては、委員数の半数以上の委員が出席しなければならない。

2 傍聴

推進委員会は、これを原則公開とする。ただし、推進委員会の開催場所の関係から、傍聴者数を制限する必要がある場合には、会議の前に傍聴の申し出を受け、委員長が推進委員会に諮って傍聴の可否を決定する。また、会議途中で傍聴の申し出があった場合も同様の扱いとする。なお、傍聴できない者及び禁止行為については、下記のとおりとする。

（傍聴できない者）

- （1）他人に危害を加えるおそれのある物を所持している者
- （2）酒気を帯びていると認められる者
- （3）異様な服装をしている者
- （4）ピラ、プラカード、旗の類を所持している者
- （5）上記のほか、議事を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすおそれのある物を所持している者

（禁止行為）

- （1）会議における発言に対して批評を加え、又は拍手その他の方法により公然と賛否を表明すること。
- （2）騒ぎ立てる等議事を妨害すること。
- （3）はち巻、腕章の類をする等示威的行為をすること。
- （4）飲食をすること。
- （5）みだりに席をはなれること。
- （6）上記のほか、秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をすること。

3 委員の欠席にともなう代理出席

推進委員会の委員は、個人に対して委嘱しているため、委員の都合により欠席する場合の代理出席は認めない。ただし、意見があるときは、あらかじめ文書などで事前に申し出ることができる。

4 会議録

会議録は、要点筆記・発言者無記名として事務局で作成し、中野区教育委員会ホームページと区役所5階教育委員会事務局（学校再編・地域連携係）で公開する。なお、教育委員会事務局では配付資料も公開する。

5 活動の広報

推進委員会の開催状況等を、必要に応じて「中野本郷小学校改築推進委員会ニュース」として取りまとめ、以下の方法により広報する。

- （1）学校を通じ、中野本郷小学校の保護者へ配付
- （2）関係町会・自治会に回覧を依頼（別途依頼予定）
 - ・弥生地域（2町会）

- 弥生町二丁目町会、道玄町会
- ・鍋横地域（6町会）
千代田町会、宮里町会、西町町会、鍋横町会、新中野町会、本町通六丁目町会
- (3) 地域内の保育園を通じ、園児の保護者へ配付
- ・保育園（2園）
鍋横保育園、宮の台保育園
- (4) 関係区民活動センター（弥生、鍋横）で窓口配布
- (5) 関係児童館（宮の台）で窓口配布
- (6) 中野区教育委員会ホームページに掲載
- なお、第1回のニュースに委員の名簿を掲載する。

6 その他

推進委員会の運営にあたり、特に定めがない事項や疑義が生じた場合は、その都度委員会で協議して定める。

委員長

今説明のあった「中野本郷小学校改築推進委員会の運営について（案）」に、意見等あるか。なければ「中野本郷小学校改築推進委員会の運営について」は、案のとおりということによろしいか。

一異議なし

議事（2）中野本郷小学校改築推進委員会の開催スケジュールについて

委員長

次に、「議事（2）中野本郷小学校改築推進委員会の開催スケジュールについて」、事務局の説明を求める。

■資料「中野本郷小学校改築推進委員会開催スケジュール（案）」を事務局より説明（概要）

（令和元年度）

○第1回（令和元年8月29日）

- ・委員委嘱、委員長・副委員長の選出
- ・中野本郷小学校改築推進委員会の運営について
- ・中野本郷小学校改築推進委員会の開催スケジュールについて
- ・中野区立小中学校施設整備計画について
- ・中野本郷小学校について

○第2回（10月下旬頃）

- ・校舎建て替えの手法に係る基本方針検証
- ・新校舎整備の基本構想・基本計画の策定スケジュールについて

○第3回（12月上旬頃）

- ・新校舎の基本構想・基本計画に係る検討状況について

○第4回（令和2年2月）

- ・新校舎の基本構想・基本計画（案）について

（令和2年度）

○第5回（4月下旬～5月中旬頃）

- ・新校舎の基本構想・基本計画について

○第6回（12月頃）

- ・新校舎の基本設計（案）について

(令和3年1月～令和4年3月 休会)

(令和4年度)

○第7回(未定)

- ・(初回内容の確認)中野本郷小学校改築推進委員会の開催スケジュールについて、中野本郷小学校改築推進委員会の運営等
- ・新校舎の整備に向けた取り組み状況について

○第8回(未定)

- ・新校舎について

(令和5年度)

○第9回(未定)

- ・新校舎について

○第10回(未定)

- ・新校舎について
- ・全体のまとめ

※回数については、協議の進捗状況に応じて増減する

委員長

今説明のあった「中野本郷小学校改築推進委員会の開催スケジュール(案)」について、何か意見等あるか。特に修正意見がない場合、事務局案のとおりとするが、よろしいか。

一異議なし

議事(3)中野区立小中学校施設整備計画について

委員長

次に、「議事(3)中野区立小中学校施設整備計画について」、子ども教育施設課長の説明を求めらる。

■資料「中野区立小中学校施設整備計画」を子ども教育施設課長より説明

子ども教育施設課長

資料1ページにある「はじめに」において、改築に対する考え方を示している。現在の中野本郷小学校の校舎は、建築後60年弱経過しており、建てかえが必要であると考えている。

建てかえをするにあたり、時代とともに変化する多様な教育活動に対応できるよう、これからの学校施設について考えていきたい。また、ユニバーサルデザインの視点に立ったバリアフリー化についても、しっかりと取り込んでいく必要があると考えている。

資料3ページの「3. 学校施設の課題」についてご覧いただきたい。(2)多様な教育環境への対応、(3)安全・安心な施設整備、(4)学校と地域・家庭との連携の推進、(5)環境への配慮、(6)防災機能の強化に十分配慮したうえで施設の整備を行っていきたい。

次に、資料5ページの「4. これからの学校施設整備」では、中野区の小学校、中学校の施設整備について、具体的な方向性を示している。「(1)学校施設整備の基本的な考え方」①の特徴的な考え方としては、小学校において、地域開放型学校図書館、子育てひろば事業も行うキッズ・プラザ、学童クラブの併設に向けて整備するほか、ユニバーサルデザインに基づく施設のバリアフリー化を一層推進していくことである。地域開放型図書館とは、各小学校に地域住民が利用できる小規模の図書館を併設することである。小学校の図書室についても、利用時間時間帯は限定されるものの、地域住民に開放する予定である。

今後整備していく小中学校の新校舎については、原則として、校舎・校庭・その他併設施設の一体的活用が可能となる一足制(上履きの廃止)により整備していく。校庭には人工芝等を使用し、校舎内に校庭の砂塵等を持ち込むことのない材質を用いて整備していく。

一足制のメリットは、児童が1回1回昇降口を経由せず校舎への出入りできるため、非常時の

ことを考えると、利便性と安全性に優れている点である。普段の授業や休み時間に外を利用する際の利便性に加え、教室に設置予定のバルコニーにも出やすくなる。今後のプランによっては、バルコニーから直接校庭にも出られるということも含めて考えていきたい。一足制の導入は、教育活動の幅が広がると考えている。

一足制導入後も、中野本郷小学校の特徴であるグリーンガーデンは、維持していきたいと考えている。グリーンガーデンの土が校舎内に入らないよう、靴底の土を落とせるような仕組みについても、あわせて考えていきたい。

資料6ページからの「(4) 標準仕様の必要性」にもあるように、一定の施設規模と教室や管理諸室の構成の標準仕様は定められているが、各地域の実情に合わせて特徴的な部分は取り入れながら学校づくりを進めていく予定である。

資料9ページ以降には、中野区立小中学校の改築における標準仕様の考え方を示している。現状の中野本郷小学校の各教室よりは大きくなる。普通教室や特別教室等、それぞれ必要な部屋を組み合わせながらプランを考えていく。

現在、中野本郷小学校は12学級であるが、推計の中では、今後、児童の数が若干増えると予想している。仮に予想より児童数が増えたとしても、十分に対応できる教室数を確保していきたい。

最後のページにある、施設整備スケジュールについてご覧いただきたい。中野本郷小学校の予定については、次のとおり示されている。今年度は、基本構想・基本計画を作成し、令和2年度～3年度については設計作業を行う。令和4年度から2年間かけて建て替え工事を進め、建て替え工事期間にあたる2年間については、現中野第一小学校（以下「旧向台小学校」という。）の位置にある校舎を仮校舎として移転して、教育活動を行っていきたい。

建て替え工事期間中、旧向台小学校の校舎を仮校舎として使用する場合、通学距離が長距離になる児童も出てきてしまう。それについての検証として、旧向台小学校の仮校舎を使用せず、中野本郷小学校のグラウンド部分にプレハブ校舎等を建てて対応することが可能か検証作業を行っている。現地に仮校舎を建て、建て替えを行うと（以下、「現地建て替え」という。）、グラウンドが使用不可となってしまう懸念や、グリーンガーデンにも影響が出る可能性もあるため、しっかりと検証を行っていきたい。最終的に旧向台小学校の校舎を仮校舎を使用するのか、現地建て替えを行うのかについては、検証結果をもとに意見をいただきたい。あくまでも現在の予定では、旧向台小学校の校舎を仮校舎として使用する方針である。

委員長

今の説明について、何か質問はあるか。

委員

改築工事期間と子どもの就学時期が重なる保護者の方にとっては、旧向台小学校の仮校舎に通うのか、現地建て替えを行うのかによって、希望先が変わってくるのではないかと。

遠距離通学になるのなら、桃花小に通わせようとする家庭が出てくると思う。既にそういった事例が出てきており、桃花小は人数が増えて困っているという話も聞く。現在、子育てをしている保護者の方にはすごく深刻な問題だと思う。

子ども教育施設課長

12月の就学通知案内を出す前までには、旧向台小学校を仮校舎とするのか、現地建て替えを行うのか、はっきりさせていきたいと考えている。あわせて、旧向台小学校の位置に通っていただくことになれば、そのことも含めて就学通知の案内に示して、判断できるように示していきたい。

委員

みなみの小と南台小においては、指定校以外に通学している方もいる。みなみの小については、新校舎の完成予定を当初の計画より延期していると聞く。新校舎完成時期の延期により、「6年生の時に新築校舎に戻ってこられるはずなのに、戻ってこられない」という話もあるため、できるだけずれのない工期をお願いしたい。

子ども教育施設課長

仮に現中野第一小学校の仮校舎を使用せず、現地建て替えとなると、建て替え工事期間は2年で終わるのは難しくなる。そういった点も考慮したうえで、旧向台小学校を仮校舎とするのか、現地建て替えを行うのか、結論を出したい。

また、仮に、工事を進めていく中で遅れが生じてしまう場合においては、できるだけ早くお詫びとともに報告をしたい。

委員長

その後についても、推進委員会で確認をするということで良いか。

子ども教育施設課長

建て替えの手法については、推進委員会の場で協議していきたい。最終的には教育委員会の判断になるが、皆様の意見を頂戴したいと考えている。

委員

遅れている理由は何か。オリンピックと関係あるのか。

子ども教育施設課長

現在工事を進めている学校で言えば、旧第十中学校の位置に新校舎を建設している中野東中学校が、当初の工期スケジュールより5カ月弱遅れている。その遅れの要因には、オリンピックの建設ラッシュの中で、部材の供給が追いついていないという事情がある。現時点で、みなみの小学校、美鳩小学校、中野第一小学校については、着工前に示しているスケジュールから遅れは生じていない。

委員長

ほかに意見はあるか。

委員

30年ほど前に建設された杉並第十小学校は、当時としては画期的な建物だった。教室にドアがない点や、学校の隣に公園がつながっている点、プールが開放されている点が画期的だった。当時、自分の子どもが通う小中学校は、芸術性がなく、最もコストを抑えた最低限の空間という感じであった。画期的な建物で、子どもたちが1日を過ごせるということは、子どもにとっても良い影響があると思う。新しいところをまだ見に行ったりはしていないが、決まったものをただ組み込んでいくのではなく、少し柔軟にできると良い。

図書館については、区内に複数箇所あったほうが良い。読み聞かせや本に関するアドバイスができる司書も必要だと思うので、ハードとソフトの両面を整えてほしい。ただつくれば良いというわけではなく、少しでも良い本を置いてほしい。地域の安全を守りつつ、どのように地域と深く関わっていくか、という図書館の1つの課題を一緒に考えていきたい。

子ども教育施設課長

特徴的な学校というのは、自治体によっていろいろあると思う。資料に施設構成の表があるからといって、画一的な何のおもしろみもない学校になるというわけではない。これは、あくまでも学校規模等の考え方である。例えば、組み合わせによって、児童が集まれる遊び場をつくる等、メリハリをつくっていきたい。今中野区にある学校は、どれも50年ほど前に建設された片廊下のつまらない学校という形のもものがほとんどだが、そのイメージからは大分変わるものと捉えていただきたい。

地域開放型図書館の運用や今後のあり方については、現在、「図書館の今後のあり方検討会」における協議が始まっている。その中で、ほかの図書館との連携、司書の動き方、配備する図書の方針、それを区民とどう考えていくか等、ソフトの部分も補強していきたいと考えている。「図書館の今後のあり方検討会」において方向性が決まったら、また紹介できればと思っている。

また、地域と防犯や安全性については、危険のないよう十分なしつらえをしたい。

委員長

ほかに意見・質問はあるか。

ー特に発言なしー

議事（４）中野本郷小学校について

委員長

次に、「議事（４）中野本郷小学校について」、学校の説明を求める。

■資料「令和元年度学校要覧」を中野本郷小学校副校長より説明

副校長

本校は今年度で開校91年目を迎えた。在籍児童は、今年度の4月1日に在籍児童359名でスタートした。現在は、各学年2学級、計12学級、在籍児童356名の中規模校である。最も児童数が多い6年生は、1組が37名、2組が39名で、教室にはすき間なく机が並んでいるため、体が大きい最上級生には活動がしづらい部分もある。教職員の構成については資料のとおりである。

最後のページに主な学校行事を載せている。毎年春に運動会を行っているが、校庭の大きな桜の木は、運動会中の子どもたちが休憩できるほど広い日陰をつくってくれている。また、トラック周辺の芝生は、砂の飛散防止や、けがの防止に役だっている。

教室配置図をご覧ください。教室数としてはそれほど余裕があるわけではなく、ランチルームや児童の更衣室などは設置されていない。

次に本校の特色である自然教材園、グリーンガーデンを紹介する。校舎の北側に位置するグリーンガーデンは、約660坪の広さがあり、23区内では有数の教材園である。毎年、5年生は、稲の育て方を専門家に教わり、田起こし、田植え、水やり、稲刈り等を体験し、収穫した餅米を使って餅つきをしている。また、音楽の学習に豊年太鼓を取り入れる等、日本の伝統文化に接する機会にもなっている。

グリーンガーデンは、内藤トウガラシの栽培や保育園児のタケノコ掘りなど、地域の方が関わる場面も多くある。七夕の笹飾りや流しそうめんのための竹を毎年もらいに来る方もいる。こうしたグリーンガーデンでの活動が認められ、東京都緑化推進委員会の緑の少年団に登録されたり、全国育樹祭に参加したり、児童にとって貴重な体験ができています。

次に、改築を進めるにあたっての参考資料として、居住地域別児童数について説明する。本校の学区域は、弥生町二丁目の一部と本町四丁目、五丁目、六丁目の全域である。地域別児童数を見ると、学校が位置する本町四丁目に居住する児童が最も多くなっている。次いで本町五丁目、六丁目と続く。学区域外から通学する児童が45名いるが、いずれも学区域に隣接する弥生町や本町三丁目、中央等である。

資料3は、地図上に児童の分布をあらわしており、資料4は、学校から最も離れた本町六丁目に住む児童の分布図である。最後の参考資料は、児童数の推移グラフである。以上である。

委員長

何か意見・質問はあるか。

委員

自分はこの委員に立候補するときに、自分はまだ越してきて5年不足のため、中野本郷小学校のホームページを見て初めてグリーンガーデンのことを知った。おそらく自分と同じぐらいの若い人は、そういうことを知らない方が多いのではないか。新校舎の完成に向けて、掲示板のみならず、地域の小さな子にもわかりやすく学校の特色を伝えていけたら良いと思う。

委員長

ほかに何かあるか。

一特に発言なし

委員長

予定していた議題は全て終了した。次回開催日程について、事務局の説明を求める。

事務局

今回は10月28日月曜日の10時から、鍋横区民活動センター3階洋室2号で開催する。

委員長

時期が近づいたら、開催通知を事務局から送付する。本日の推進委員会はこれをもって終了する。